

フェイクニュースを題材とした批判的読書力の涵養

2019/07/12 福岡 克也

- 前回の MT で共有した内容と反省
 - 研究同士の差分を提示，自身の独創性部分を抽出
 - 便利ツールを脱出できていない
 - 支援する内容が多岐に渡るが，その一つ一つが大事なテーマ
 - 自身の研究構成を考えることは重要
 - 研究論文を正しく読むことも重要
- 新たな研究の提案
 - 研究背景
本庶佑「教科書に書いてあることを信じない」という金言
知識を受け入れるだけの読書は勉強になったつもりでも，
自分で考えるようになるわけではない
知識受容から知識創造へと変わるには，批判的読書が必要
 - 対象とする学習者
初期状態：著者の主張を全て正と受け止め，
その妥当性を吟味しながら読書に望めない学習者
目標状態：システム無しでも批判的態度を示しながら，
システム利用により培われた思考方略を用いて文章を批判的に読める
 - 批判的に読書することの困難性
以下の「批判的に読むためには」を参照
 - 困難性解決のために計算機が何をするべきか未定
ex) 永井さんの読解方略のようなイメージ？
- 批判的に読むためには
 - 1.じっくりと吟味する態度を身につける
 - 正しいことが書いてあると思わない
 - 少しでも違和感があれば問いにする
 - 文脈によく照らしながら読む
 - 2.筆者の狙いを掴む

フェイクニュースを題材とした批判的読書力の涵養

2019/07/12 福岡 克也

- 筆者の目的を考える
- 誰に向けての書いたのか
- なぜ描こうと思ったか

3.論理を追う

- 意見には根拠が基づいているか見極める
- 可能性と必然性を区別（自然言語処理で可能かもしれない）
- 矛盾した情報，一貫性があるのか確認
- 意見と事実，主観と客観の区別
- 用いられているデータの信用性を吟味
- メタファー，熟語，口語表現，俗語の意味を汲み取る
- 暗黙のうちに入り込んでいる前提を探る
- 頻繁に出てくるキーワードが何かあるか

➤ 題材とするトピックの引用元

題材提案 1

正規ニュースを用いる（天声人語，余禄，春秋などのコラム）

話題がとっつきやすく議論しやすい

筆者の目的が設定されていることが多い（誰に向けて何を何のために）

題材提案 2

トピックにフェイクニュースを用いる

必ず間違いがあるので批判的に読むのではと考えた

一方で，批判的と言うよりは間違いを探す読み方になる可能性がある

ニュース作成者が込める意図が弱い（目的を持っていない）と思われる

明らかに間違っているとわかるものも多い

題材提案 3

フェイクニュースと正規ニュースの二択クイズ

ニュースの真贋がわからないので批判的に読むのではと考えた

懸念点は提案 2 と同じ部分が多い

情報リテラシーの支援の側面もあるのではないか